

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース ■3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4~5面 安倍首相辞任、私たちが追いつめた!/ジェンダーリレー講座/ホットライン
- 6面 なべつかみ/母の歴史
- 7面 新婦人のページ/主張/性のお話もっと気軽に



愛知・春日井市 金子真子(67)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

高田高校:放送部/漫画アニメ部 制作

トランスジェンダー 知ってますか?

大切なのは、子ども達が 自分らしく 生きるための 知識 を備えること

トランスジェンダーとは、戸籍上の性(※)と望む性(※)と一致しない人です。早い人では、物心ついた頃から性別違和を自覚しており、男女で分けられることに激しい苦痛を感じています。性別違和は、人権に関わる大きな悩みであり、決して「わがまま」ではありません。見えないマイノリティであり、周囲の人の理解と配慮が必要です。

後援：三重県 / 一般社団法人ELLY / (株)中インズアレイション / 津市教育委員会 / 三重県男女共同参画センターアレンティア / NPO法人 LGBTの家族と友人をつなぐ会 / 四日市大学 小林慶太郎 副学長 監修

高校生たちが作った啓発ポスター



NFTで活動する高校生のみなさん

あなたはあなただから

トランスジェンダーの子の母親として

トランスジェンダーの子どもの母親として、セクシュアル・マイノリティについて知ってほしいと講演や相談活動にとりくむ「LGBTの家族と友人をつなぐ会」理事の浦狩知子さん(三重県在住・57歳)に、お話を聞きました。

突然、泣きながら告白

6年前、高校受験をひかえた中学3年の冬、子どもから「お母さん、高校は男子として入学したい。生理もスカートも限界。ごめんなさい、ごめんなさい」と泣きながら告白されました。育て方が間違っていたのか、何か頭を打つなど原因があったのだろうかと思いましたが、この子にとって本当に必要なことを見つけていくことが大事だと頭を切り替えました。かつての恩師に相談したところ「その子たちの人権は絶対にまもらなくてははいけません。お母さん、がんばりなさい」と背中を押され、その言葉を胸にがんばってききました。



浦狩知子さん(左)と颯空さん

し、あちこちの医療機関を探しました。しかし「15歳のお子さんの生理をとめるなんて考えるのは

ポスターを全国に

三重県高田高校放送部がLGBTに関する番組をつくるために、私を取材してくれました。その時、放送部の高校生たちが「私たちに何かできることはありませんか」と声をかけてくれたんです。それで、2017年11月、高校生と一緒にトランスジェンダーに関する周知啓発を目的とするNPO団体NFT(New Future of Transgender)を結成しました。今は、高校生たちが作成した啓発ポスター「トランスジェンダー知って」が、全国の高校3年からは男子生徒として学校に通えるようになったのです。私は「LGBTの家族と友人をつなぐ会」に入学し、交流会や相談活動、講演などの活動を行うようになりました。

「15歳のお子さんの生理をとめるなんて考えるのは、また日常のなかでできることを考え、ベランダ虹色プロジェクトにもとりこんでいます。行動する時だけレインボーフラッグやバッジを取り出すのではなく、毎日使っていて、洗濯をして、干すというルーティンのなかでレインボーフラッグがあればいいと考えて、レインボータオルを作った普及しています。」

LGBTの家族と友人をつなぐ会

浦狩知子さん

NFT (New Future of Transgender)とは…

2017年11月、三重県高田高校放送部を中心に結成されたNPO団体。高校生やトランスジェンダー当事者、当事者の子どもを持つ母親により構成される。この団体名には、「トランスジェンダーの新しい未来を作りたい」という思いが込められている。「トランスジェンダーに対する周囲の認知と理解を広める」もし自分が当事者の身近な存在になった時に、自分自身が当事者にとってプラスな存在になれるようにする」の2つに目標を定め活動し、イベントなどのとりくみを行っている。 Twitter:@NFT_2017_1123

9月24日号は休刊です

安倍政治の継続ゆるさない

中央常任委員会声明 4・5面

